

議会だより 199

2026年2月1日発行

三芳町

公募写真
ダブル表紙
ご応募ありがとうございます



上富小学校廃校議案、その行方は!? ▶ p.2

定例会の主な内容 ▶ p.4

ズバリ!町政を問う ▶ p.8

撮影者
三芳町藤久保在住 内藤歩さん
僕の大好きな三芳町の落ち葉の絨毯

議会だより発行月 2月 5月 8月 11月

次の発行は5月1日の予定です。



上富小学校廃校 議案、その行方は!?



主な質疑

- 問** 統廃合に伴い、校歌や校章の変更について町の答えは。
- 答** 考えていない。
- 問** 統廃合ではなく、自由学区制・小規模特認校が採用されなかった理由は。
- 答** 審議会でも協議したが、クラス替えや部活動・集団活動、男女比の偏りの他、小規模校の解消に至らない等の課題があった。保護者会でも説明した。
- 問** 存続についての意見は聞いていないのでは。
- 答** 審議会では小規模特認校等についても協議した。存続よりも他の方策を模索する意見があった。
- 問** 少人数の中での学び合いの方が教育的効果が大きいのでは。
- 答** 少人数は人間関係が深まる反面、固定化が危惧され、ある程度の人数が必要と考える。
- 問** 廃校後の跡地利用については町の計画と異なる住民の要望もある。ゼロベースで検討可能か。
- 答** 政策研究所で議論したが、ゼロベースで多くの方の意見を聞きたい。

- 問** 議会にも住民から要望書が提出され、住民への説明不足との意見があったが町の考えは。
- 答** 全 29 回の説明会等を実施したが、そのような声もあった。理解頂いていると思うが多くの意見を聞き、より良い教育環境をつくりたい。
- 問** 登下校時のスクールバス導入の方針は確定か。
- 答** 学校準備委員会設置後、意見があれば協議する。
- 問** 統廃合の最終的な判断は町だと答弁があったが、責任の所在は。
- 答** 町と議会の両方にあると考えている。
- 問** 議会に対して教育委員会から正式な説明がないが、十分説明したと思うか。
- 答** 不十分な部分があったと認識している。
- 問** 統廃合を急ぐ理由は。
- 答** 令和 10 年度に新入生が 5 名になると予測されており、教育委員会が目指す教育の充実の面から進める必要があると考えている。
- 問** 住民への説明会は、夜間ではなく日中の開催にしては。
- 答** 昼・夜・土日開催など工夫したい。

三芳町立学校設置条例の一部を改正する条例

提案理由

上富小学校を廃止し、三芳小学校に統合するため、本条例を改正したく提案するものである。

これまでの経緯

令和 4 年 5 月～ 12 月	三芳町立小中学校適正規模適正配置検討委員会設置（委員会 5 回開催）
令和 4 年 12 月	三芳町立小中学校適正規模配置基本方針策定
令和 5 年 7 月～令和 7 年 1 月	三芳町立学校再編等審議会設置（審議会 11 回開催）
令和 7 年 2 月	三芳町立学校再編等審議会より答申

答申の内容

- ①上富小学校を三芳小学校に令和 10 年度を目途に統合
- ②竹間沢小学校の再編については保留
- ③三芳町立中学校の再編については保留

上富小学校存続を求める要望書については P7 に掲載

令和7年
第6回定例会
(12月1日～12月15日)

12月1日から第6回定例会が15日間の会期で開催されました。町長提出の報告が1件、議案が18件あり、17件が可決、1件が否決となりました。

議員提案の意見書2件、町民からの要望書1件が審議され不採択となりました。

反討 牛丸議員

近い将来、学校統廃合が必要だと認識するが、議会にも責任がある以上、説明が不十分な中で拙速な決定を見送ることが適当と判断した。住民の理解、子どもの声をどう尊重するか、跡地利用の進め方も課題である。最適解を模索する事に一層の努力を求め反対討論とする。

反討 日本共産党

世界農業遺産に認定されても地域に学校が無くなれば人口流出、農業の衰退に繋がりがねない。学校再編等審議会の答申や、学校統廃合における文部科学省が示す留意点でも書かれている「学校関係者や保護者、住民との合意形成」が不十分なままの上富小学校廃校は認められない。

賛討 公明党

上富小学校の廃校・三芳小学校への統合は決して学校を減らすための施策ではなく、子どもたちが受ける教育の質を守り、むしろ高めるための選択であるとする。自治体の責任は将来にわたってより良い教育環境を届けることだ。統廃合は必要で前向きな判断であり賛成する。

反討 輝

地域住民は、上富の拠点であり、交流の場の上富小学校の存続を願い、署名や様々な方法で意見を表明している。子どもたちに率直な意見を聴いてほしい。「私達の声を聴いて、学校は残してほしい」と言っている児童もいる。児童の教育の観点と地域住民の要望から存続の議論を求める。

一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算総額に **9億6963万円**を追加し、歳入歳出予算総額を 198億4068万6000円とする。

主な歳入

●国庫支出金 2824万7000円 地域公共交通確保維持改善事業補助金 2791万4000円など 妊婦のための支援給付費補助金 33万3000円	●県支出金 1130万円 地域公共交通DX・コンパクト+ ネットワーク促進事業補助金 931万5000円 不妊検査費助成事業補助金 30万1000円	●繰越金 8億9317万4000円	●町債 590万円
---	--	--------------------------	------------------



主な歳出

●一般廃棄物収集運搬事業 393万3000円 一般廃棄物収集世帯、ふれあい収集世帯、動物 死体の増加による増額	●道路改良事業 500万4000円 開発事業者の申し出により、道路後退が行われ る土地について、道路拡幅用地の購入費用	●(仮称)地域活性化発信交流拠点整備事業 780万円 官民連携手法の事業者公募・選定を行うためのア ドバイザリー業務の委託料
--	--	---



主な質疑

- 問 ふれあい収集世帯数はどれだけ増えたか。
答 当初の25世帯が35世帯に増えている。
- 問 道路拡幅用地購入の積算単価が高すぎる。周辺
の土地売買価格でなく鑑定価格で出すべきだ。
答 今後は指摘の点を考え参考にしたい。
- 問 竹間沢小学校の屋内消火栓更新工事は授
業に支障が出ないか。
答 工期は一週間であり、支障が出ないようにしたい。

(仮称)地域活性化発信交流拠点事業者選定アドバイザー業務委託料削除

道の駅の基本機能である「情報発信機能」「地域連携機能」の面で農業振興や商工業振興に関わっ
て、関係者との合意形成を図る手立てや住民への説明が不十分なこと、立地の問題や収益構造な
どリスクの議論が十分できていないにもかかわらず、事業者公募・選定するアドバイザー業務
委託を行うのは時期尚早であるとして、その経費を補正予算から削除する修正動議が一部議員か
ら提出されたが、採決の結果、可否同数で議長より採決により否決され、原案が可決となった。

修正動議
否決!

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出に、それぞれ **6140万4000円**を追加し、歳入歳出予算総額を 199億209万円とする。

補正予算の概要

人事院勧告にもとづく町職員の給与改定(行政 職は平均3.36%引き上げ)及び特別職並びに議員 の期末手当支給率(年4.60カ月を4.65カ月に引 き上げ)を改定するもの。	●歳入 6140万4000円 財政調整基金繰入金(基金取り崩し)
	●歳出 6140万4000円 職員人件費 6115万6000円 議会運営 24万8000円

定例会の主な内容

三芳町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

内容

生後6ヶ月から2歳未満の未就園児が、保護者の就労の有無にかかわらず保育所等を年間10時間まで利用できるようにする制度(=こども誰でも通園制度)の実施に向けた環境整備。

主な質疑

- 問 実施される園、および保育の形態は。
答 現段階では、各園に実施が可能か伺っている。保育の形態は別室で行う場合や定員に余裕があれば一緒に行う場合も考えられる。
- 問 保育人材の確保は施設ごとか町としても検討するのか。
答 町の施策としても順調に進んでいくよう努力していきたい。
- 問 こどもを預かる際には必ず面談を行なうのか。
答 利用する事業所と面談を行なうのが基本となっている。

賛成 公明党

核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、親の就労の有無にかかわらず、すべての子育て家庭が保育施設とつながる機会を保障し、子育ての孤立を防ぐことを目的とした重要な施策である。諸課題についての継続的な検証・改善を視野に入れ、丁寧な運用となるよう希望し賛成する。

反対 共産党

制度の理念については理解できる。3歳未満児、保護者への支援は重要である。「保育の必要性」の要件を見直して、希望する全ての子どもたちに質の確保された保育を保障できるようにすべきと考える。保育士の処遇改善と配置基準の抜本的改善を行い、公的保育を拡充することを求める。

反対 輝

「こども誰でも通園制度」はスマホでも全国どこでも空きがある事業者への予約が可能システムだ。現状の保育に新たな子どもが短時間、日替わりで来ると現場の保育士の負担は重くなる。保育士の資格のない人を見ることが可能な仕組みにもなっている。公的保育の拡充こそが必要だ。

三芳町行政組織条例の一部を改正する条例

- ・未来創造課の設置及び図書館の町長部局への移管
- ・道の駅整備促進室の設置

主な質疑

- 問 教育の中立性が保たれるか危惧されるがその点はどうか。
答 図書館法に中立を保つことが謳われていることから引き続き保たれる。

反対 共産党

図書館は教育施設である。教育行政は政治からの独立性を確保することにより個人の学びや思想と表現の自由を守っている。様々な協力者により成り立ち住民自治でもある図書館であり、町長部局への移管に反対する。事業採算性が不明確な「道の駅整備準備室」設置も時期尚早だ。

**推薦に
同意しました**

任期満了に伴う委員の選出に同意しました。
 人権擁護委員（継続） 鹿島 武雄氏
 人権擁護委員（新規） 林 武嗣氏

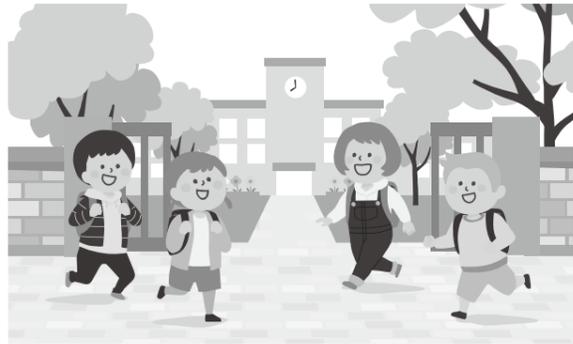
上富小学校の存続を求める要望書（有効署名 481 筆）

要望趣旨
 「上富小学校は残して」の児童の声を尊重し、地域住民の交流の場でもあり歴史ある地割の遺跡の見学地でもある。よって上富小学校の存続を強く求めるものです。

要望内容
 ① 早急な判断ではなく、存続の意義も議論していただくこと
 ② 三芳町教育委員会に対して、今後、存続の議論も行うこと
 ③ 12月定例会へ廃校の議案を提出しないように求めること

付託
 12月1日の本会議で厚生文教常任委員会に付託

審査
 要望内容の一部に議会の



結果
 委員会では、「不採択すべきもの」となり本会議で「不採択」となった。

権限が及ばない事項が含まれているとの意見が多かった。

傍聴人数

本会議		YouTube 視聴回数
令和7年 第6回定例会		
12月 1日 議案審議	2人	48
12月 2日 一般質問	2人	161
12月 4日 一般質問	6人	110
12月 5日 一般質問	9人	155
12月 8日 一般質問	3人	41
12月15日 定例会	15人	968
合計	37人	1483
委員会		YouTube 視聴回数
12月 1日 議会運営委員会	0人	
12月 1日 厚生文教常任委員会	2人	
12月 4日 厚生文教常任委員会	1人	
12月 8日 議会運営委員会	0人	
12月 8日 広報広聴常任委員会	0人	
12月 9日 全員協議会	0人	
12月 9日 総務常任委員会	0人	
12月10日 厚生常任委員会	14人	
12月12日 議会運営委員会	0人	
12月15日 議会運営委員会	0人	
12月15日 全員協議会	6人	
合計	23人	

「道の駅」計画は一度立ち止まり吟味すべき。
 三芳町の行政のことを知るの

傍聴席から

本会議や委員会を傍聴された方から
 ご意見・ご感想をいただきました。
 ※一部抜粋を含む

「道の駅」計画は一度立ち止まり吟味すべき。
 三芳町の行政のことを知るの

は三芳広報を見るよりは本会議を傍聴した方が詳しいことがよくわかります。

Aーの字幕すごいですね。要約筆記とは少し違いますが見やすく良い感じですよ。

字幕システム設置は望んでいたことだが位置の関係で見にくかった。

待ち時間が長かった。

議員の賛否を公開します



詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。 ○賛成 ×反対

令和7年第6回定例会 審議結果	議員名	議員名														
		池上義典	三芳みらい	細田三恵	林善美	長野真寿美	光下重之	増田磨美	本名洋	公明党	小松伸介	輝	久保健二	吉村美津子	牛丸藍子	菊地浩二
補正予算																
令和7年度三芳町一般会計補正予算（第5号）	原案可決 (議長裁決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度三芳町一般会計補正予算（第5号）に対する修正動議 (道の駅事業に関する業務委託予算を削除する修正動議)	否決 (議長裁決)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
令和7年度三芳町一般会計補正予算（第6号） (議会議員、町長、副町長、教育長の期末手当支給率の改定及び職員の給与等の改定に伴う補正予算)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度三芳町下水道事業会計補正予算（第3号） (下水道事業における職員の給与等の改定に伴う補正予算)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度三芳町水道事業会計補正予算（第2号） (水道事業における職員の給与等の改定に伴う補正予算)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・改正、契約の締結、道路線の認定等																
三芳町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 (子ども・子育て支援法等の一部改正により、乳児等通園支援事業の設備及び運営基準を定めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正により、本条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (特定教育保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正により本条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町水道事業給水条例及び三芳町下水道条例の一部を改正する条例 (災害など非常時において他自治体で指定を受けた業者が町内で工事をできるようにするもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町立学校設置条例の一部を改正する条例 (上富小学校を三芳小学校へ統廃合するもの)	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町議会議員及び三芳町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例 (公職選挙法の一部改正により、本条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町行政組織条例の一部を改正する条例 (藤久保地域拠点施設の整備に伴い、未来創造課を設置するもの。また、道の駅整備促進室を設置するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤久保地域拠点施設整備等事業変更契約の締結について (施設の維持管理及び運営業務において物価上昇によりサービス対価の改定をおこない、契約金額を変更するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について (藤久保の2路線を町道に認定するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 (議会議員の期末手当の支給率を年4.60月分→年4.65月分に改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 (町長及び副町長の期末手当の支給率を年4.60月分→年4.65月分に改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 (教育長の期末手当の支給率を年4.60月分→年4.65月分に改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (令和7年度の人事院勧告を踏まえ、町の給与検討委員会において検討の結果、三芳町職員も国と同様に給与等の引き上げを行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告																
専決処分事項の報告について（三芳町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び三芳町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例） (児童福祉法の一部改正により新たな条項が追加されたことにより、本条例を整理するため改正するもの)	報告のみ															
諮問																
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (任期満了に伴い提案するもの。継続分)	同意として 答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (任期満了に伴い提案するもの。新規分)	同意として 答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書																
リフト付き大型バス「おおぞら号」の存続を求める意見書について	否決 (議長裁決)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
最高裁判決を踏まえた全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書について	否決 (議長裁決)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情・要望																
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	配布のみ															
上富小学校の存続を求める要望書の提出について	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
動議・発議																
吉村美津子議員の議会の品位を落す発言について調査並びに取消しを求める動議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉村美津子議員に反省を求める決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



英語教育と国際交流の推進



問 自治体国際化協会J-E Tプログラムによる外国語指導手派遣の活用は。

答 **教育センター** 本町は民間派遣を選択し全小中学校にA-LTを配置している。

問 J-E T派遣は学校のみでなく町が進める国際交流事業に活用できると思うが。

答 **町長** A-LTの職員と違った意味で幅広く国際交流事業を進めていくことへの可能性もあり検討する。

問 姉妹都市マレーシアPJ市、友好都市韓国ハドン郡との様々な交流の成果のフィードバックや、第三者機関による評価が必要では。

答 **秘書広報室** 外部評価員、監査委員、参加生徒のアンケートを実施し、高い評価をいただいている。

問 国際交流事業の上位計画への位置づけ、専門部署の設置、語学習得者配置は。

答 **町長** 最上位計画の第6次総合計画に共生のまちづくりや国際化政策を位置付けている。行政組織の再編成にて国際連携担当を設置し、人員配置も行う。

問 児童・生徒向けの夏季



英語キャンプの実施は。

答 **教育センター** 現在、夏と冬にイングリッシュツアーを実施。英語キャンプも実現に向け検討する。

問 姉妹都市や友好都市への修学旅行の検討は。

答 **学校教育課** 生徒が英語を実用的に学ぶ機会や異文化を理解する効果があると思うが、費用面・安全面への課題を考慮し研究する。

◆災害時の対策強化を

問 地震ブレイカー設置への補助制度創設は。

答 **自治安心課** 住宅用火災報知器購入補助に地震ブレイカーへの補助も併せて制度設計する。

その他の質問

①透析患者への災害時支援

②RSワクチン接種助成について

ズバリ！町政を問う

桃園典子議員 保育人材確保のための支援拡充を	P.8	牛丸藍子議員 町の転換期、上富と人口と農業は	P.11
内藤美佐子議員 英語教育と国際交流の推進	P.9	吉村美津子議員 上富小学校の存続について	P.12
菊地浩二議員 期待のMIYOバス	P.9	久保健二議員 町民FIRSTの事業・政策を！	P.12
細田三恵議員 竹小スクールゾーンの新設を	P.10	増田磨美議員 道の駅をどう考えるか	P.13
小松伸介議員 町民の命を守る防災対策の推進を	P.10	光下重之議員 「道の駅」の持続可能性に疑問！	P.13
長野真寿美議員 リスクマネジメント体制の構築	P.11	本名 洋議員 加齢性難聴者に補聴器購入助成を	P.14

※林善美議員は都合により一般質問を行いませんでした。



期待のMIYOバス



問 公共交通を三芳町が担う必要性をどのように考えているか。

答 **政策推進室** 民間の交通事業者の経営状況が厳しい状況にあるなかで公共交通の充実を図るためには、町が交通ネットワークを補完する必要がある。

問 MIYOバスの運行開始から2ヶ月が経過したが計画通り順調か。

答 **政策推進室** 一定の利用があるものと見受けられ、順調に走り始めている。

問 実証運行と本格運行の違いは。

答 **政策推進室** 主に認可制度の違いで、本格運行となると容易に内容変更が難しくなる。

問 どのような利用状況になれば本格運行となるか。

答 **政策推進室** アンケート等の実施、停留所の位置やダイヤ等を検証し、運行内容が固まった段階で移行。

問 なぜ土日祝日の運行がないのか。

答 **政策推進室** MIYOバスの運行実現は運行事業者を確保することが大きな課題



問 9時前、6時以降の運行がないのは。

答 **政策推進室** 住民要望では昼間の時間帯での運行ニーズが高かったため。

問 運賃250円と決まった経緯は。

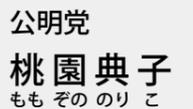
答 **政策推進室** 協議会ではバス事業者への影響を考慮するなかで250円とすべきとの意見があった。

問 逆順でのコース設定は。

答 **政策推進室** 逆コースも検討したが、バス停が反対側にも必要なことで利用者が混乱してしまう点を考慮し、一方でのスタートとなった。理想では反対方向への運行も考えられるが人材・車両等の確保などの懸念が考えられる。



保育人材確保のための支援拡充を



問 町内保育施設における保育人材の有効求人倍率は。

答 **こども支援課** 県単位で示されており令和5年2、63、6年2、98、7年3、21。

問 保育士不足の影響は。

答 **こども支援課** 一時保育の一時的休止、受け入れ人数を調整する等がある。

問 保育人材確保策で宿舍借上げ補助事業の整備は。

答 **こども支援課** 支援の効果と国庫協議の内容も勘案し実施の可能性を考える。

問 町独自の求人就業プラットフォームを設置しては。

答 **こども支援課** 民間園とも意見交換し検討したい。

問 高い保育ニーズを見据えた人材確保策が必要では。

答 **町長** 宿舍借上げ補助事業等魅力ある保育士確保策を実施していきたい。



◆こどもにやさしいまちづくりにおける権利擁護

問 いじめなど公平性が求められる事案の対応には第三者機関が必要ではないか。

答 **こども支援課** 相談先の一つとして大切と考える。

問 こどもの権利擁護セン

問 世界農業遺産認知度は。

答 **観光産業課** まだ低いと捉えるが、様々な機会での周知により向上している。

問 観光資源のブランディング向上としてマラソン大会の開催が有効では。

答 **観光産業課** 認知度向上に一定効果があると思う。

問 マラソン大会開催が町への愛着とシビックプライドの醸成となるのでは。

答 **文化スポーツ推進課** 競技性を求めるかイベント的に開催するかで効果が変わってくると思われる。

◆町の魅力発信とシビックプライド

問 今後体制整備をしっかりと行っていきたい。

答 **町長** 今後体制整備をしっかりと行っていきたい。



リスクマネジメント体制の構築



問 商業施設と大型マンションの間に道路ができたが、現在遠回りをしている通学路の見直しは行なったか。

答 学校教育課 通学路の安全を優先しつつ学校への距離も考え、変更も含めた検討を進めて行く。

問 幹線23号線通学路に対する安全対策は。

答 道路交通課 グリーンベルト設置や運転者に減速を促す路面標示等、事故防止を図る安全対策を実施。

問 学校教育課 児童にとって依然と危険箇所が存在することから、今回指摘した箇所を含め、安全点検の徹底をしていく。

問 歩行者の安全を確保するため横断歩道に色付けをしてはどうか。

答 道路交通課 町内では事例のない標示形態だが、実効果や施工上の注意点等について警察に確認し検討していく。

問 スクールゾーン新設を含め児童の安全確保に向けた具体的な取組は。

答 教育長 スクールゾーン設置は、まず学校や地域から

問 支出事務処理において、遅延や不備の発生件数をどのように把握しているか。

答 会計課 担当課で発生している遅延や不備については、会計課へ相談があることで初めて把握することになる。遅延や不備が認められたものについては担当課へ差し戻し適切に処理するよう指導している。

問 支出事務に関する内部調査・点検はどの頻度で行われているか。

答 会計課 会計課で点検する際、不備等が見られる場合は、随時担当課へ差し戻しを行っている。

問 適正な予算執行を担保するためのチェック体制について課題認識は。

答 会計課 会計課のチェック体制は万全を期しており、現在まで支払い事故は発生していない。問題はないと捉えているが、その他の予算執行は各予算所管の命令者の権限であり、適切な予算管理と執行体制が求められると考える。

問 チェック体制・職員研修・内部統制の強化に向け、対策を考えているか。



問 提出された要望書を学校教育課で確認し、必要と判断した場合に關係課と協議のうえ、沿線住民の同意を得る。その後、東入間警察署へ要望書を提出し、警察の調査・認可を経て、必要な標識・路面表示等整備を進めて行くこととなる。

問 施設利用料や物販等の収益見込みの可能性は。

答 総合調整幹 収益施設による町への納付金は、利益に対する歩合か施設使用料とするか今後検討する。

問 事業中止・縮小検討は。

答 町長 多額の投資を要する事業の為、将来の子供たちにつけを残さないことを優先に慎重に進めていく。

問 会計課 新規職員に会計事務の研修を実施するとともに、会計処理マニュアルを全庁的に公開し全職員に法令遵守を促している。

問 過去5年間の申し込み件数・利用件数は。

答 学校教育課 5年間の申し込み件数は2件であり、うち利用件数は1件だ。

問 他市では日本政策金融公庫だけでなく独立行政法人日本学生支援機構の奨学金についても利子補給を行っている。本町においても導入の考えは。

答 学校教育課 現時点では考えてないが、今後検討していくかなくてはと考える。

問 八潮市陥没事故が当流域内で起きた場合の影響は。

答 上下水道課 地域住民や事業者に対し、下水道使用白濁要請等の影響がある。

問 事故を想定した対策は。

答 上下水道課 県と連携した下水道施設の緊急点検、情報伝達訓練に参加。

問 簡易トイレ等を配布し、自助意識啓発を行っては。

答 自治安心課 地域連携避難訓練の啓発品で配布しているが、全町民向けに広報等でトイレの啓発も行う。

問 当町で一番古い管は。

答 上下水道課 汚水管の総延長約12.6kmの内、昭和50年に布設された汚水管が対象。延長は約120m。

問 管の耐震化の状況は。

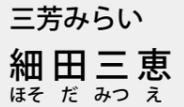
答 上下水道課 避難所等の重要施設に接続する上下水道一体での耐震化を計画。下水はマンホールの継手工事を実施。施工対象マンホールは全約4800基の内、約430基で令和7年度完了87基、耐震化率は約20%。

問 耐震化が必要な管は。

答 上下水道課 避難所等のマンホールから流域下水道



竹小スクールゾーンの新設を



問 商業施設と大型マンションの間に道路ができたが、現在遠回りをしている通学路の見直しは行なったか。

答 学校教育課 通学路の安全を優先しつつ学校への距離も考え、変更も含めた検討を進めて行く。

問 幹線23号線通学路に対する安全対策は。

答 道路交通課 グリーンベルト設置や運転者に減速を促す路面標示等、事故防止を図る安全対策を実施。

問 学校教育課 児童にとって依然と危険箇所が存在することから、今回指摘した箇所を含め、安全点検の徹底をしていく。

問 歩行者の安全を確保するため横断歩道に色付けをしてはどうか。

答 道路交通課 町内では事例のない標示形態だが、実効果や施工上の注意点等について警察に確認し検討していく。

問 スクールゾーン新設を含め児童の安全確保に向けた具体的な取組は。

答 教育長 スクールゾーン設置は、まず学校や地域から

問 提出された要望書を学校教育課で確認し、必要と判断した場合に關係課と協議のうえ、沿線住民の同意を得る。その後、東入間警察署へ要望書を提出し、警察の調査・認可を経て、必要な標識・路面表示等整備を進めて行くこととなる。

問 施設利用料や物販等の収益見込みの可能性は。

答 総合調整幹 収益施設による町への納付金は、利益に対する歩合か施設使用料とするか今後検討する。

問 事業中止・縮小検討は。

答 町長 多額の投資を要する事業の為、将来の子供たちにつけを残さないことを優先に慎重に進めていく。

問 会計課 新規職員に会計事務の研修を実施するとともに、会計処理マニュアルを全庁的に公開し全職員に法令遵守を促している。

問 過去5年間の申し込み件数・利用件数は。

答 学校教育課 5年間の申し込み件数は2件であり、うち利用件数は1件だ。

問 他市では日本政策金融公庫だけでなく独立行政法人日本学生支援機構の奨学金についても利子補給を行っている。本町においても導入の考えは。

答 学校教育課 現時点では考えてないが、今後検討していくかなくてはと考える。



問 大きな方針転換を伴う事柄は関心の有無に関わらず共通課題として広く認知できる仕組みが必要では。

答 町長 多様な媒体で情報発信を行ってきたが、一方通行であった事も否めない。相互に課題を共有できる場を重視し、町長オープンドアという場を設けて積極的に outgoing 住民の声を聞いていきたい。

問 空き家バンクは空き家増加の解決も兼ねつつ人口維持に寄与する取組みと考えるが今後検討は。

答 政策推進室 県内市町村でも登録物件数は少なく現在町も設置していないが空き家解消や移住促進に効果があると考えられる場合には設置を検討する。

問 子育て世代の移住者が伸び悩めば次世代の農業分野や地域活性化の人材育成が脆弱になる可能性も考えられるが対策の検討は。

答 観光産業課 当町は県内でも代々継続されている若手農業後継者が比較的多いので各種農業補助を継続実施し支援したい。地域活性化はイベント実施で関係人口の増加

問 八潮市陥没事故が当流域内で起きた場合の影響は。

答 上下水道課 地域住民や事業者に対し、下水道使用白濁要請等の影響がある。

問 事故を想定した対策は。

答 上下水道課 県と連携した下水道施設の緊急点検、情報伝達訓練に参加。

問 簡易トイレ等を配布し、自助意識啓発を行っては。

答 自治安心課 地域連携避難訓練の啓発品で配布しているが、全町民向けに広報等でトイレの啓発も行う。

問 当町で一番古い管は。

答 上下水道課 汚水管の総延長約12.6kmの内、昭和50年に布設された汚水管が対象。延長は約120m。

問 管の耐震化の状況は。

答 上下水道課 避難所等の重要施設に接続する上下水道一体での耐震化を計画。下水はマンホールの継手工事を実施。施工対象マンホールは全約4800基の内、約430基で令和7年度完了87基、耐震化率は約20%。

問 耐震化が必要な管は。

答 上下水道課 避難所等のマンホールから流域下水道

問 接続点までの延長約13km。耐震化に必要な費用は。

答 上下水道課 約5億4000万円。交付金も活用。

問 対策を講じる期間は。

答 上下水道課 避難所等に接続する管路について20年間で耐震化完了を目指す。

問 藤沢市の空洞ポテンシャルマップを参考にしている。

答 道路交通課 参考にしつつ他の事例も研究したい。

問 温浴施設や洗濯等に関する災害協定締結の進捗は。

答 自治安心課 近隣の事業者と協議を行っている。

問 住宅密集地火災対策は。

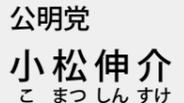
答 自治安心課 地震ブレーカー等の周知や補助、訓練のメニュー化等に努める。

問 補助制度等を構築して住宅密集地解消を進めては。

答 町長 十分検討したい。



町民の命を守る防災対策の推進を



問 大きな方針転換を伴う事柄は関心の有無に関わらず共通課題として広く認知できる仕組みが必要では。

答 町長 多様な媒体で情報発信を行ってきたが、一方通行であった事も否めない。相互に課題を共有できる場を重視し、町長オープンドアという場を設けて積極的に outgoing 住民の声を聞いていきたい。

問 空き家バンクは空き家増加の解決も兼ねつつ人口維持に寄与する取組みと考えるが今後検討は。

答 政策推進室 県内市町村でも登録物件数は少なく現在町も設置していないが空き家解消や移住促進に効果があると考えられる場合には設置を検討する。

問 子育て世代の移住者が伸び悩めば次世代の農業分野や地域活性化の人材育成が脆弱になる可能性も考えられるが対策の検討は。

答 観光産業課 当町は県内でも代々継続されている若手農業後継者が比較的多いので各種農業補助を継続実施し支援したい。地域活性化はイベント実施で関係人口の増加

問 接続点までの延長約13km。耐震化に必要な費用は。

答 上下水道課 約5億4000万円。交付金も活用。

問 対策を講じる期間は。

答 上下水道課 避難所等に接続する管路について20年間で耐震化完了を目指す。

問 藤沢市の空洞ポテンシャルマップを参考にしている。

答 道路交通課 参考にしつつ他の事例も研究したい。

問 温浴施設や洗濯等に関する災害協定締結の進捗は。

答 自治安心課 近隣の事業者と協議を行っている。

問 住宅密集地火災対策は。

答 自治安心課 地震ブレーカー等の周知や補助、訓練のメニュー化等に努める。

問 補助制度等を構築して住宅密集地解消を進めては。

答 町長 十分検討したい。

自治体	延長 (m)	事業費 (万円)	自治体	延長 (m)	事業費 (万円)
上野原市	179	0	17年度	15	0
2年度	40	1	18年度	17	2
3年度	33	0	19年度	27	6
4年度	35	4	20年度	71	12
5年度	25	1	21年度	42	7
6年度	35	0	22年度	35	10
7年度	59	9	23年度	54	29
8年度	44	16	24年度	29	11
9年度	25	10	25年度	19	3
10年度	63	11	26年度	26	1
11年度	43	9	27年度	43	9
12年度	54	6	28年度	41	11
13年度	62	18	29年度	36	2
14年度	33	27	30年度	30	4
15年度	30	1	31年度	19	3
16年度	15	0	32年度	19	4
計				1,741	301

狭あい道路整備等促進事業の令和7年度活用予定自治体



町の転換期、上富と人口と農業は



問 大きな方針転換を伴う事柄は関心の有無に関わらず共通課題として広く認知できる仕組みが必要では。

答 町長 多様な媒体で情報発信を行ってきたが、一方通行であった事も否めない。相互に課題を共有できる場を重視し、町長オープンドアという場を設けて積極的に outgoing 住民の声を聞いていきたい。

問 空き家バンクは空き家増加の解決も兼ねつつ人口維持に寄与する取組みと考えるが今後検討は。

答 政策推進室 県内市町村でも登録物件数は少なく現在町も設置していないが空き家解消や移住促進に効果があると考えられる場合には設置を検討する。

問 子育て世代の移住者が伸び悩めば次世代の農業分野や地域活性化の人材育成が脆弱になる可能性も考えられるが対策の検討は。

答 観光産業課 当町は県内でも代々継続されている若手農業後継者が比較的多いので各種農業補助を継続実施し支援したい。地域活性化はイベント実施で関係人口の増加

問 接続点までの延長約13km。耐震化に必要な費用は。

答 上下水道課 約5億4000万円。交付金も活用。

問 対策を講じる期間は。

答 上下水道課 避難所等に接続する管路について20年間で耐震化完了を目指す。

問 藤沢市の空洞ポテンシャルマップを参考にしている。

答 道路交通課 参考にしつつ他の事例も研究したい。

問 温浴施設や洗濯等に関する災害協定締結の進捗は。

答 自治安心課 近隣の事業者と協議を行っている。

問 住宅密集地火災対策は。

答 自治安心課 地震ブレーカー等の周知や補助、訓練のメニュー化等に努める。

問 補助制度等を構築して住宅密集地解消を進めては。

答 町長 十分検討したい。



問 新規就農希望者の受け入れについて町の考えは。

答 観光産業課 条件に適合する相談があれば積極的に検討する。各種団体と連携し農業技術・経営を学ぶ場も設けられている。遊休農地の解消につながる政策手段の一つとしても考えているので引き続き検討する。

問 こどもにやさしいまちづくり候補自治体である町として、社会的擁護を受けていた若者の自立と社会参加の場として上富地域にチャレンジの場を創設しては。

答 町長 世界農業遺産に認定された地域でそうした場を作ることができればいいと思う。提案についてはしっかりと考えていきたい。



日本共産党
増田 磨美
ます だます み

道の駅をどう考えるか



問 町の令和7年度一般会計予算の概要では、長期化する物価高騰が経済に大きな影響をもたらしており不確実性が高まる中、先行きは依然として不透明と分析している。また人口ビジョンでは生産人口も減と予測され、景気が回復する保証も無いのに10年後一人当たりの負担額が28万円か

答 町長 上富地域内に早くから反対の看板やポスターが貼ってあるのが、この行動をどのようか捉えるか。
答 町長 上富地域内に早くから反対の看板やポスターが貼ってあるのを見ています。憲法21条で、表現の自由が保障されている。その思いをしつかり尊重する。

問 町はスマートICフル化開始に伴い、一旦凍結していた(仮称)地域活性化発進交流拠点計画を開始した。この計画による町民の将来負担増にどのような影響が出てくるのか。
答 財政デジタル推進課 国庫補助金を除く概算事業費を25億円とすると全額地方債を借り入れたと想定した場合、一人当たりの負担額のシミュレーションは令和6年度末の時点では町民一人当たり28万円だが、令和12年度では39万8000円となる見込み。その要因は(仮称)地域活性化発進交流拠点の整備だけでなく藤久保地域拠点施設整備事業費や公共施設修繕・更新等が見込まれている。過度な将来負担を残さないように努める。



(仮称)地域活性化発信交流拠点計画にある周辺地域

問 町の令和7年度一般会計予算の概要では、長期化する物価高騰が経済に大きな影響をもたらしており不確実性が高まる中、先行きは依然として不透明と分析している。また人口ビジョンでは生産人口も減と予測され、景気が回復する保証も無いのに10年後一人当たりの負担額が28万円か
答 町長 恐れ心配し、よく考えて、緻密な計画を立てて進むのが自分の方針だ。広く説明もしていきたい。

問 計画期間がタイトで十分醸成されていないこと、住民との話し合いや説明が不足していること、財政投入が大きいく将来にわたり町にとつて負担が大きいこと等を考えると進めるべきではないと思うがどうか。
答 町長 今、かつてと比べて財政規模が非常に大きくなっている。今の段階ではこれではできない事業と考えている。計画を精査し町民に状況も説明して意見を聴く場を作っていくきたい。



日本共産党
光下 重之
みつ したしげ ゆき

「道の駅」の持続可能性に疑問！



問 約2000万円の利益は確定値ではなく、もっと精査しなければならないという
答 総合調整幹 最新の公表されたデータだが、指摘もあるのので今後精度を向上させる検討をしたい。また、別の求め方も検討している。

問 交通量モデルからの想定入込客数(年間利用者数)52万人に使われた県内14の道の駅の中で4つが10年前の実績値になっていないか。
答 総合調整幹 ネクスコへの連結料が発生する高速道路PAとの連結案、町単独案など4案の中から一番事業収益が見込める町単独案として

問 交通混雑を起している町道を出入口にしているのは立地環境に無理があるのではないか。
答 総合調整幹 出入口は北側と南側2箇所に設ける予定。アクセスを分散させ渋滞を回避できると思う。



三芳スマートIC下り線周辺

問 町は持続可能性の観点でさらに多角的に検討する必要があるのではないか。
答 町長 指摘の通りで、需要予測の精度を高めるべく、事業採算性の検討を進めている。

問 上富小学校エリアとの分担型整備案は、議決されていないから道の駅といわないだけなのか。
答 総合調整幹 上富拠点は道の駅とする予定はない。学校設置条例の変更がなされた場合、基本計画から様々な検討を進めていく。

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



上富小学校の存続について

輝
吉村美津子
よしむらみ つこ

問 上富地域に廃校反対の立て看板やポスターが貼ってあるが、この行動をどのように捉えるか。
答 町長 歴史ある学校で、私もそう出来ればよいと思う。今後の教育に反映させたい。

問 上富小学校の統廃合は、児童に「存続」それとも「三芳小学校」のどちらなのか気持ちに直接に聞かず、「子どもの権利に関する条例」に即していないのでは。
答 町長 我々は条例を尊重しながら、できる限り子どもの意見を反映するよう聞いてきたつもりだ。

問 分校やデイサービス施設等の社会施設との併設、特認校などの検討は。
答 学校教育課 検討した。根本的手立てにはならない。



上富小学校

問 分校やデイサービス施設等の社会施設との併設、特認校などの検討は。
答 学校教育課 検討した。根本的手立てにはならない。

問 4年間提案し続けて、ようやく今春整備が完成したスケートボードパークだが、アンケート等を実施して利用者の声を聴く機会を設けてほしいがどうか。
答 施設マネジメント課 アンケート等、どのような形で利用者の声を聴いたらいいか検討したい。

問 スケートボードのセクションの痛み等が原因で起きるケガや大きな事故につながるための安全点検を定期的に実施できないか。
答 施設マネジメント課 令和8年度に予算化し専門業者による点検を実施する。

問 初心者や子供たち対象のスクールを開催してほしい旨の相談が寄せられている。施設利用者減少抑制のためにも開催できないか。
答 施設マネジメント課 スクール等、イベントの開催をするには所管を移管したほうがいいと感じている。

町民 FIRST の事業・政策を！

輝
久保 健二
くぼ けん じ



問 4年間提案し続けて、ようやく今春整備が完成したスケートボードパークだが、アンケート等を実施して利用者の声を聴く機会を設けてほしいがどうか。
答 施設マネジメント課 アンケート等、どのような形で利用者の声を聴いたらいいか検討したい。

問 スケートボードのセクションの痛み等が原因で起きるケガや大きな事故につながるための安全点検を定期的に実施できないか。
答 施設マネジメント課 令和8年度に予算化し専門業者による点検を実施する。

問 初心者や子供たち対象のスクールを開催してほしい旨の相談が寄せられている。施設利用者減少抑制のためにも開催できないか。
答 施設マネジメント課 スクール等、イベントの開催をするには所管を移管したほうがいいと感じている。

問 授業日程の見直しが必要と感ずるがどうか。
答 学校教育課 寒暖を考慮した全校でバランスの取れたスケジュールを検討してきたい。課題もあるが、児童が安心して水泳学習に取り組めるよう検討したい。

問 共生社会推進事業として庁舎敷地内に施工した壁画アートに掛った日数、滞在期間及び費用は。
答 施設マネジメント課 施工費用75万円、施工日数26日、滞在期間45泊46日間。



共生社会事業として制作された庁舎壁画ペイントアート

問 授業日程の見直しが必要と感ずるがどうか。
答 学校教育課 寒暖を考慮した全校でバランスの取れたスケジュールを検討してきたい。課題もあるが、児童が安心して水泳学習に取り組めるよう検討したい。

9月定例会に続き またしても

議事が止まる

決議に対する 反対討論

牛丸議員

決議の前提とされている発言削除について公正な判断に疑問がある箇所もある。厳しい内容であっても民意を反映した発言は不適切とは言い切れない。吉村議員の発言に一定の留意点はあるが、反省を求めるまでには至らない。よって、決議には賛同できない。

日本共産党

吉村議員の一般質問での発言は感情的であり、相手への敬意を感じられないものではあるが、削除をすべきとまでは言えない範囲と考える。吉村議員は反省すべき点はあるが、発言の制限、萎縮に繋がりがなく、議会として決議することは極めて慎重であるべきであり決議案には反対する。

可決

12月15日
「吉村美津子議員に反省を求める決議について」が提出される。

※その後、議長より当該部分の発言の取り消し命令あり

吉村議員は発言の取り消しを拒否。

吉村議員の一般質問を検証の結果、議長より8項目にわたり発言の取り消しを求める。

可決

「吉村美津子議員の議会の品位を落とす発言について、調査並びに取消しを求める動議」が提出される。

発端

12月5日
吉村議員の一般質問において感情的で相手への敬意を欠いた不適切な発言や行為が繰り返された。周囲からの不規則発言もあり、円滑な議会運営を妨げた。

一般質問とは？

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



加齢性難聴者に補聴器購入助成を

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし



問 加齢性難聴者に対し補聴器購入助成を行う自治体が増えていることについて町の見解は。

答 福祉課 加齢性難聴は日常生活に様々な影響があると言われていて。補聴器購入補助を行う自治体が増えていることは認識している。

問 県や医師会などの専門家の協力で加齢性難聴の早期発見に努めては。

答 福祉課 医師会は補聴器に関する受診相談を行っている。県は言語聴覚士を派遣している。健康増進課と連携し、このような制度を含め課題の整理をしていきたい。

問 補聴器購入助成の実施を考えては。

答 町長 「聞こえ」の問題は重要であり町でも対策が必要と考える。加齢性難聴者への補聴器購入補助は新年度予算で考えたい。

◆戦後80年平和事業について

問 公民館、歴史民俗資料館での展示に対する評価は。

答 総務課 公民館でのパネル展示は、記憶を継承し平



広島原爆ドーム

立地適正化計画について

その他の質問

和の重要性を訴え、多くの人に歴史を伝える効果があった。

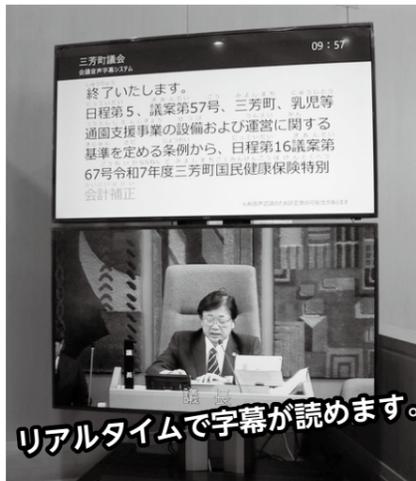
問 来年度以降の中学生平和記念式典派遣事業は。

答 町長 非常に意義があった。町としても引き続きしていきたい。

答 歴史民俗資料館 歴史民俗資料館の展示は戦争を経験した世代が高齢化し語り伝えることが難しくなっていく現在において、今回の展示が戦争の記憶を後世に伝え、平和の大切さを改めて感じてもらうきっかけになっていくことを期待して開催した。大変有意義な事業であった。

議場にモニター設置

よりわかりやすく!



リアルタイムで字幕が読めます。



詳しくはこちらをご覧ください。

議会運営委員会・所管事務調査報告

10月29日・30日の2日間、所管事務調査を実施しました。

【神奈川県開成町】 ハラスメント防止条例の制定について

制定の経緯や条例の内容などを調査しました。新人議員が安心して活動できる環境づくり、第三者委員会を設置できる付則など、議会改革のモデルケースといえる全国でも先進的な取り組みを学びました。



【山梨県甲州市】 議会主体のキャリア教育について

議員で構成される子ども議会研究会を立ち上げ、教育委員会や学校と連携して体系的に主権者教育を実施。単年で終わらない継続的な取り組みも整えられていました。



三芳町議会においても両市町の事例を参考にしながら、実情に応じた議会改革と主権者教育を進めていくことが重要です。今後の協議に大変参考になる調査を行うことができました。

ふれあい座談会

議会報告会を開催しました

藤久保公民館

主な質問・意見・要望

① MIYO バスについて

- ・料金が安い。無料にしては。
- ・平日運行だが、土日運行と行事イベント時の運行をできないか。

②交通安全について

- ・藤久保地域の道路に青い線が引かれ自転車が走りやすくなった。
- ・人や自転車が安心して通れる安全道路計画を立て住みやすい町にして欲しい。

③議会について

- ・議会だよりを多くの人に読んでもらえる努力をして欲しい。
- ・議会をもっとオープンにして欲しい。伝わってこない。

④統廃合について

- ・児童にもアンケートを取っているが統合が前提となっている。上富小を残す選択肢が与えられていないので、子供の意見を聴く機会を作って欲しい。



- ・まちづくり全体の問題なのでよく意見を聴いて欲しい。

⑤その他

- ・ふれあいセンターは残してほしい。
- ・犬と一緒に散歩できる公園が欲しい。
- ・不法投棄が気になる。
- ・日常的に熱心に道路美化に取り組んでいる方を表彰してもらいたい。
- ・箱物より住民生活ではないか。

参加者の皆さんから、たくさんのご意見やご要望をいただきました。工夫をして今後の議会活動に活かしていきます。ありがとうございました。

令和6年度決算状況の報告や補正予算の報告等のあと質疑応答を行い、グループごとにワークショップ形式で意見交換を行いました。藤久保公民館では、休憩時間にふるさと大使みよしウインドオーケストラ「クラリネット・アンサンブル スキップサンド」による生演奏を行っていただきました。

- 期 日** 11月7日
竹間沢公民館 (9時30分～11時)
中央公民館 (16時30分～18時)
- 期 日** 11月8日
藤久保公民館 (9時30分～11時)

- 内 容** ・令和6年度決算の状況報告
・令和7年度補正予算の状況報告
・その他の議案等の報告
・意見交換
- 参加者** 延べ 37名

竹間沢公民館

主な質問・意見・要望

①議会報告会について

- ・議員より参加者が少なく必要なのか。
- ・ふれあい座談会の名称、議員の立場で町を良くしたい思いが伝わってくる。
- ・議会報告会は、テーマを持って開催すると人が集まるのでは。

②MIYOバスについて

- ・反対回りを要望している人が多い。
- ・役場乗り継ぎでなくみずほ台駅の逆回りを希望する。

③小学校統廃合について

- ・学習ボランティアに行っているが、少人数



の方が教えやすいので、少人数を活かす方向を希望する。

④高齢者問題について

- ・高齢者が立ち寄れるカフェがあると良い。ふれあいセンターは遠い。

中央公民館

主な質問・意見・要望

①小学校統廃合について

- ・12月の議案上程は急ぎすぎ、時間をかけて理解を得た上で進めるべき。
- ・大人数がいいと思っていたが、少人数の受け皿があった方が良い。
- ・青梅では他地域から越境してくる子もいる。緑豊かな三芳町を求めてくるのでは。

②MIYOバスについて

- ・運賃がライフバスより高い。

③道の駅について

- ・道の駅計画は、拙速過ぎる。町づくり懇話会でも町長は、やりますと前のめりだ。
- ・上富小統廃合と一緒にしているが問題。



④世界農業遺産について

- ・世界農業遺産に認定され個人で山林を管理するのは大変だ。

⑤農業政策について

- ・ネットやトンネル等に日常使う物に補助金を付けて欲しい。

次回の開催は...

- ・5月8日(金) 18時～ 竹間沢公民館
- ・5月9日(土) 14時～ 藤久保公民館
- ・5月10日(日) 14時～ 中央公民館



三芳町のことについて、気になっていることやご意見はありませんか。どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にお越しください。

議会だより モニター募集



(議会だよりモニター会議の様子。令和6年) オンラインの参加もありましたよ

デザインは 表紙は 住民参加

用語のわかりやすさ 写真やグラフ などなど

親しまれる議会だよりを目指しています。
是非皆様のご意見をお聞かせ下さい。

募集概要

活動内容

- ・議会だよりについての意見交換
- ・アンケート調査等への協力
- ・4回前後の会議の出席 (Zoom参加可)

応募要件

- ・三芳町在住、在勤、在学する18歳以上の方
- ・三芳町議会の議会広報・広聴に関心があり、公正な社会的見識のある方

定員 8名以内 任期 令和9年3月31日

応募方法 (応募締切：令和8年3月31日)

- ・議会HP及び議会事務局にある応募用紙にご記入の上、議会事務局に持参、メール、FAXでご応募ください

お問合せ・ご応募 三芳町議会事務局

TEL 049-258-0019 内線601

FAX 049-274-1057

MAIL gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

／ご回答ありがとうございます！／

議会だよりアンケート

議会だより全体の感想、要望等

(一部抜粋)



北永井 50代

議員の一般質問や個々の政策への賛否を公開し町民が意見を伝えるシステムがあると良い。

議会だよりは読みやすいですか？

- ・読みやすい
- ・少し読みにくい

議会だよりで関心のある項目は？

- ・一般質問
- ・本会議
- ・議員の賛否

議会だよりの印象は？

- ・読みやすい
- ・難しい

表紙写真はとても綺麗ですが文字等の色が合っていない。写真に合わせてみたらより良くなると思います。



上富 20代

今後読んでみたいと思われるために必要と思う事は？

記事の内容を誰でも理解できるようにする



藤久保 30代

外国人問題について町長、町議の皆様のご意見を伺いたいです。

次はあなたの番かも

表紙写真募集!!

ご応募頂きありがとうございます！

ご家族、友人やペットとの思い出の1枚をお待ちしています!!



QRコードからご応募ください。



令和8年
2月28日
締切

・氏名・住所・連絡先・コメントを添える (皆さんに写真のお掲載許可を頂いて下さい)

採用された写真は応募者 (撮影者) の氏名および在住等を掲載します。応募多数の場合は選考となります。お問い合わせは議会事務局まで gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

お聞かせください あなたの声



議会だよりについての感想や「こんな誌面にしてほしい」などご意見をお寄せください。今後の誌面作りの参考にさせていただきます。



令和8年
2月28日
締切

